



夫木和歌抄

卷十九

1814
1765
19



136

五
二
九
—
五
四
四

57

門 4
稱 1765
本 19

丈本和歌抄巻第十九

新部一

非題

改直

彼岸	北	夕	煙	雲	天
	巽	巽	庚	酉	日
	乾	東	曉	滄	星
	坤	西	綱	虹	風
	艮	南	晝	晝	火



天象 三行分上
千五百番歌合

後久我老政大臣



久方のうらみもあはれむ
 老の百首の合
 日
 定直部
 日
 年蓮法師

ふりかへてのうらみ ^{新六} けしき ^{新六}

の指 ^{新六}

の指 ^{新六}

ふりかへてのうらみ ^{新六} けしき ^{新六}

の指 ^{新六}

ふりかへてのうらみ ^{新六} けしき ^{新六}

の指 ^{新六}

ふりかへてのうらみ ^{新六} けしき ^{新六}

の指 ^{新六}

ふりかへてのうらみ ^{新六} けしき ^{新六}

の指 ^{新六}

ふりかへてのうらみ ^{新六} けしき ^{新六}

の指 ^{新六}

ふりかへてのうらみ ^{新六} けしき ^{新六}

の指 ^{新六}

ふりかへてのうらみ ^{新六} けしき ^{新六}

の指 ^{新六}

の指 ^{新六}

ふりかへてのうらみ ^{新六} けしき ^{新六}

の指 ^{新六}

お久二年の事百首集 記

その事れお久の事百首集の事

敬業

日

未来記
玉葉雜二

その事れお久の事百首集の事

永久四年百首集

神後伯成仲

その事れお久の事百首集の事

日

仲美お

その事れお久の事百首集の事

日

二葉百首集

その事れお久の事百首集の事

敬業の事

源仲の

その事れお久の事百首集の事

神後伯成仲

流るお

その事れお久の事百首集の事

神後伯成仲

流るお

その事れお久の事百首集の事

光後伯成

その事れお久の事百首集の事

流るお

その事れお久の事百首集の事

461

211
おのれは

おのれは

212
おのれは

おのれは

213
おのれは

おのれは

214
おのれは

おのれは

215
おのれは

おのれは

216
おのれは

おのれは

217
おのれは

おのれは

218
おのれは

おのれは

219
おのれは

おのれは

おのれは

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

為右大臣

長和三年二月考終并史可首

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

兼左大臣

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

攝政

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

為左大臣

兼集

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

後於

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

攝政

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~


倭成

うき木わたしの里あとしのあひよりうきりよ

あきまき

作 執力 敷

のひのちりよのちりよのちりよのちりよ

うきりよ

^天あきりよのちりよのちりよのちりよ

けりよのちりよのちりよのちりよ

をよのちりよのちりよのちりよ

連八つと云ふ有年一と云ふ一と云ふ

ものよのちりよのちりよのちりよ

あきりよのちりよのちりよのちりよ

ゆへにちりよのちりよのちりよ

佐吉の屋よりつり天鏡入海中

火のゆへにちりよのちりよのちりよ

廊下よりゆへにちりよのちりよのちりよ

天とちりよのちりよのちりよのちりよ

早とちりよのちりよのちりよのちりよ

東本願寺のちりよのちりよのちりよ

てはちりよのちりよのちりよのちりよ

作徳寺のちりよのちりよのちりよ

おののけのついでにうらなふらん

おののけ

おののけのついでにうらなふらん

おののけ

おののけのついでにうらなふらん

おののけ

おののけ

おののけのついでにうらなふらん

おののけ

おののけ

おののけのついでにうらなふらん

おののけ

おののけのついでにうらなふらん

おののけ

おののけ

おののけのついでにうらなふらん

おののけ

おののけ

おののけのついでにうらなふらん

おののけ

おののけのついでにうらなふらん

おののけ

おののけ

おののけのついでにうらなふらん

おののけ

大津渡河丸

梅をたらしくとをるきき一の...
万八

菊音風

高貴の白目子

ふゆらの節...
万二

雪もももも

ふゆのうら

く...
万九

日向子

坂上節子

我...
万六

ふゆももも

歌昭

く...
万三

若湯座

あ...
万三

雪ももも

人丸

ふ...
万四

雪ももも

中細におお

あ...
万七

雪ももも

ふゆのうら

あ...
万七

吹

ふゆのうら

367

此の比ふまゝの月よらにをれはく強く此處の
 里
 ちれいの月 和泉武敏
 あまらゆり〜
 けり〜
 あまらゆり〜
 けり〜

此の比ふまゝの月よらにをれはく強く此處の
 里
 ちれいの月 和泉武敏
 あまらゆり〜
 けり〜
 あまらゆり〜
 けり〜

家業抄紙

指信とらぬ

公事（？）
保延四年（？）
大和（？）

（？）
（？）

（？）
（？）

（？）
（？）

（？）
（？）

（？）
（？）

（？）
（？）

（？）
（？）

（？）
（？）

大和（？）

（？）

（？）

（？）

（？）

（？）

（？）

（？）

（？）

（？）

此の書は...
 千五百...
 文意...
 結...
 千五百...
 文意...
 結...
 千五百...
 文意...
 結...

此の書は...
 千五百...
 文意...
 結...
 千五百...
 文意...
 結...
 千五百...
 文意...
 結...

海のほとりには
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに

おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに

おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに

おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに

おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに

おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに

おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに
おのちのついでに

法性寺入名園白歌集

永久白平五月廿五日... たえ

萬曆二十一年十月

忠清

平山のおまゝ... 万代冬丁家

同代書村

おまゝは

おまゝの... ほ

おまゝの... あ

おまゝの... あ

萬曆二十一年十月

乙

おまゝの... た

久世百首

おまゝの

おまゝの... 頼

久世百首

おまゝ

おまゝの... た

おまゝの... た

おまゝの... た

おまゝ

おまゝ

おまゝの... た

おまゝの... た

はるかに...
新六六

遠き...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

...
新六六

文永九年 毎日 青中 日
 三行 合 九
 三 字 九
 五 七
 六 五
 弘長二年 内 裏 一 首
 長 三 位 以 後
 弘長二年 内 裏 一 首
 長 三 位 以 後
 弘長二年 内 裏 一 首
 長 三 位 以 後

文永九年 毎日 青中 日

弘長二年 内 裏 一 首
 長 三 位 以 後
 弘長二年 内 裏 一 首
 長 三 位 以 後
 弘長二年 内 裏 一 首
 長 三 位 以 後
 弘長二年 内 裏 一 首
 長 三 位 以 後
 弘長二年 内 裏 一 首
 長 三 位 以 後
 弘長二年 内 裏 一 首
 長 三 位 以 後

2

二巻百首
 常盤井入名太政官
 後二巻百首
 伊勢
 家隆卿
 常盤井入名太政官
 後二巻百首
 伊勢
 家隆卿

二巻百首
 常盤井入名太政官
 後二巻百首
 伊勢
 家隆卿
 常盤井入名太政官
 後二巻百首
 伊勢
 家隆卿

天 ¹
この ² ³ ⁴

おん ¹ ² ³ ⁴

¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

敬業部におち

この ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

た ¹ ² ³ ⁴

あ ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

敬業部 ¹ ² ³ ⁴

あ ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

く ¹ ² ³ ⁴ ⁵

¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

この ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

敬業部

あ ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

久 ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

あ ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

あ ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

あ ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

あ ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

あ ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ¹⁰

わんわんのきつをいへりしわんわんきつに
なほいへりしわんわんきつに

文治三年正月十三日

わんわんきつをいへりしわんわんきつに
なほいへりしわんわんきつに

文治三年正月十三日

わんわんきつをいへりしわんわんきつに
なほいへりしわんわんきつに

文治三年正月十三日

わんわんきつをいへりしわんわんきつに
なほいへりしわんわんきつに

文治三年正月十三日

文治三年正月十三日

文治三年正月十三日

わんわんきつをいへりしわんわんきつに
なほいへりしわんわんきつに

文治三年正月十三日

わんわんきつをいへりしわんわんきつに
なほいへりしわんわんきつに

文治三年正月十三日

わんわんきつをいへりしわんわんきつに
なほいへりしわんわんきつに

文治三年正月十三日

文治三年正月十三日

わんわんきつをいへりしわんわんきつに
なほいへりしわんわんきつに

文治三年正月十三日

わんわんきつをいへりしわんわんきつに
なほいへりしわんわんきつに

文治三年正月十三日

河津集を尋ねて

後法大寺住持

母一ありけり云の^わゆらんれは^りあたりたり

家山意りたり云

俊頼の長

あま^まさう^まふり^まわる^ま云と^まら^まれ^まて^ま色^まよ^まの^ませ^まる^ま第^まの^まあ^ませ^まの

華集あいの云

源仲正

書^まら^まし^ま月^まの^まあ^まは^まけ^まひ^まさ^まり^まら^まら^まあ^まわ^まの^まこ

遠保二年九月百首云々

儒正の云

ゆ^まら^まし^まの^まあ^まは^まけ^まひ^まさ^まり^まら^まら^まあ^まわ^まの^まこ

百首云々

名義の云

あ^まら^まし^まの^まあ^まは^まけ^まひ^まさ^まり^まら^まら^まあ^まわ^まの^まこ

日

意清の云

あ^まら^まし^まの^まあ^まは^まけ^まひ^まさ^まり^まら^まら^まあ^まわ^まの^まこ

百首云々

あ^まら^まし^まの^まあ^まは^まけ^まひ^まさ^まり^まら^まら^まあ^まわ^まの^まこ

日

日

あ^まら^まし^まの^まあ^まは^まけ^まひ^まさ^まり^まら^まら^まあ^まわ^まの^まこ

安永三年九月歎命

あ^まら^まし^まの^まあ^まは^まけ^まひ^まさ^まり^まら^まら^まあ^まわ^まの^まこ

花月百首の云 意清の云

379

又月もとらねらうふゆらふらのちんかみりやえ

文永三年中勢の難しき九月の合連様

法下尊忠

あまのぼろくしとくくしとくくしのちんかみりやえ

は秋判る右心言わぬのれとくくしとくくし

ゆしと文集しゆゆし人己將も厚くし

とゆしとくくし河出よんゆし

長秋源のたま

あけとくくし九月の時やぬ源のたま

柿中秋伏百首 長九条のたま

こればかりのちんかみりやえ

遠久七年百首廿八首のちんかみりやえ

長九条のたま

あまのぼろくしとくくしとくくしのちんかみりやえ

永久三年若月内裏合八首のちんかみりやえ

長九条のたま

あまのぼろくしとくくしとくくしのちんかみりやえ

百首十首のちんかみりやえ

あまのぼろくしとくくしとくくしのちんかみりやえ

あまのぼろくしとくくしとくくしのちんかみりやえ

あつたにや

あつたにや (あつたにや) ちかひのちかひ

あつたにや 日

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにや 日

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

あつたにやのちかひのちかひのちかひのちかひ

481

本
西
三
行
カ
ル

三
字
集

大
作
抄
第
一

あ
は
れ
の
き
よ
し
ら
の
ま
え
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い

日

若
菜
八
家
の
長

あ
は
れ
の
き
よ
し
ら
の
ま
え
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い

秋
秋
中

中
納
の
長

あ
は
れ
の
き
よ
し
ら
の
ま
え
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い

あ
は
れ

あ
は
れ

あ
は
れ
の
き
よ
し
ら
の
ま
え
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い

あ
は
れ

あ
は
れ

五
百
四
十

あ
は
れ
の
き
よ
し
ら
の
ま
え
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い

五
百
三
十

あ
は
れ
の
き
よ
し
ら
の
ま
え
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い

あ
は
れ

五
百
二
十

あ
は
れ
の
き
よ
し
ら
の
ま
え
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い

あ
は
れ

あ
は
れ

あ
は
れ
の
き
よ
し
ら
の
ま
え
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い

あ
は
れ

あ
は
れ
の
き
よ
し
ら
の
ま
え
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い

あ
は
れ
の
き
よ
し
ら
の
ま
え
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い
の
ま
い

漫

482

5
天の民慈歎可んものとせしめて一人奉る向
中なる教養の念なり

歌集
和泉歌歌

7
おののちのちのあはれさうさうのあふれやき
南の百首歌合
慈徳和音

日ぬくく民のさあまのあはれさうさうのあふれ
文永十一年毎日百首中なる歌々

あふれさうさうのあはれさうさうのあふれ
さうさうのあはれさうさうのあふれ
光俊和音

あふれさうさうのあはれさうさうのあふれ
信文和音

あふれさうさうのあはれさうさうのあふれ
遠保八年百首歌合
左中納具氏

あふれさうさうのあはれさうさうのあふれ
久ららのあはれさうさうのあふれ
歌集釋中ぬ
信保和音

あふれさうさうのあはれさうさうのあふれ
遠長八年百首歌合
有永和音

あふれさうさうのあはれさうさうのあふれ
5
はあはれさうさうのあはれさうさうのあふれ
或

383

三文字
うきさくらあはれゆき

歌不効

船垣

六二丁
くねみよのへちまをさくらめじり田をのりて

日打

~~~~~

六二丁  
くねみよをさくらめじり田をのりて

歌集夏

新垣

六二丁  
くねみよをさくらめじり田をのりて

歌集夏

和泉武

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

入心書

三行分上
三行分上
三行分上

連仁九年十月終合部
下枝
新

光修部
新

三行分上
新

三行分上
新

三行分上
新

三行分上
新

わらわのまはらふに橋をたててゆくわがづからづから

よきもの道 新編

何れがよき道ぞとわがづからづからゆくわがづから

遠長に平治令 女 平治令

うらなれあふまはれのまはらふとらいつらいつら

文政二年毎首級 ありあはる

あやうくまはれうらなれうらなれうらなれうらなれ

三行分元 三行

於焼お明佛身 影伴 三行

わらわのまはらふに橋をたててゆくわがづからづから

わらわの ありあはる

わらわのまはらふに橋をたててゆくわがづからづから

日 新編 文政二年

わらわのまはらふに橋をたててゆくわがづからづから

光俊の長

わらわのまはらふに橋をたててゆくわがづからづから

新中細と新具

わらわのまはらふに橋をたててゆくわがづからづから

保正二年あな合時 徳 法住の合圓白

わらわのまはらふに橋をたててゆくわがづからづから

文永三年十一月十日百首

有歌石

あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく

文永三年十一月十日百首

有歌石

あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく

文永三年

有

万十一
下六

あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく

文永三年

有歌石

あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく

文永三年百首

有歌石

あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく

文永三年

有歌石

あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく

文永三年百首
後九条内百首

あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく

あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく

あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく

文永三年百首
後九条内百首

あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく
あまのあけのほろけぞはらへぬかきく

新古今

人丸

万十五

万十五の原の月... 万十五の原の月... 万十五の原の月...

歌集

日

万十三

万十三の原の月... 万十三の原の月... 万十三の原の月...

文筆元年七紙

為政

建久十年百本八首... 建久十年百本八首... 建久十年百本八首...

新古今

新古今

建久十年百本八首... 建久十年百本八首... 建久十年百本八首...

建久十年百本八首... 建久十年百本八首... 建久十年百本八首...

建久十年百本八首... 建久十年百本八首... 建久十年百本八首...

為政

建久十年百本八首... 建久十年百本八首... 建久十年百本八首...

為政

建久十年百本八首... 建久十年百本八首... 建久十年百本八首...

為政

建久十年百本八首... 建久十年百本八首... 建久十年百本八首...

為政

為政

建久十年百本八首... 建久十年百本八首... 建久十年百本八首...

新古今

新古今

昔年

金村

三
う海はよま、まの海へ、
海はさう、みらぬさあ。

くまのさあ

高陽門院歌

りのあふけが、
思歌林

歌集のあふ

歌集の

思ひのさう、
思歌林

寛平沙阿の合

友列

続後拾
物名

行多くと、
思

弘長元年百首

及九条の

あふ、
積

あふ、
埋

及多條の

埋

あふ、
煙

煙

三行分ん

百首中

重く

あふ、

毎百首中

あふ

あふ、

百首中

日

あふ、

遠き甲午一毎の三日中一日

おぼしきし〜この書は日教の考へりありあはれぬの事

くすの百書

後如々

ありありは彼のちりり〜としかたうと焼つりそやん

日

皇政の

可等の海も焼は〜りか〜ん彼ひだ〜ん〜ん〜ん〜ん

の百書第一合

は系後後後

あ〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん

何路二年百書〜行の甲日

らりつら杜の書〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

おと初〜階層

き〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん

詠もる

書長を返す長

ク〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん

清書未敷も夫

中務の甲子

〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん

家書

和歌抄

あ〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん

田舎の甲子

日

〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん〜ん

授^其ら^二ら^一 ^す ^新 ^六 ^日

者^其 ^二 ^一 ^民 ^々 ^の ^御

多^三 ^行 ^分 ^十 ^七

民^三 ^々 ^の ^御

ら^其 ^二 ^一 ^民 ^々 ^の ^御

三^三 ^行 ^分 ^十 ^七

唐^三 ^々 ^の ^御

民^三 ^々 ^の ^御

建^三 ^保 ^三 ^年 ^一 ^月 ^一 ^日

民^三 ^々 ^の ^御

及^三 ^一 ^条 ^入 ^在 ^國 ^白

ら^其 ^二 ^一 ^民 ^々 ^の ^御

後^三 ^女 ^名 ^女

洞^三 ^院 ^有 ^政 ^貴 ^白 ^首

民^三 ^々 ^の ^御

隆^三 ^信 ^名

正^三 ^治 ^二 ^年 ^一 ^月 ^一 ^日

民^三 ^々 ^の ^御

文^三 ^治 ^二 ^年 ^一 ^月 ^一 ^日

民^三 ^々 ^の ^御

兼^三 ^茂 ^名 ^相

正^三 ^治 ^二 ^年 ^一 ^月 ^一 ^日

文意元年一七九〇百有覽

西曆二年德月十三年一合覽言

後家極極致

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

三行分上

文信元年一五九〇百有

傳成端

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

三行分上

文信元年一五九〇百有

傳成端

の産物のいふゆゑにわづらひておぼしめし

日

有る

日

有る

をうけておぼしめしつゝおぼしめしつゝ

有る 有る

をうけておぼしめしつゝおぼしめしつゝ

有る 有る

をうけておぼしめしつゝおぼしめしつゝ

有る

のりつとておぼしめしつゝおぼしめしつゝ

日

宿直

有る

わけぬおぼしめしつゝおぼしめしつゝ

日

有る

のりつとておぼしめしつゝおぼしめしつゝ

日

有る

のりつとておぼしめしつゝおぼしめしつゝ

有る

有る

三行分

のりつとておぼしめしつゝおぼしめしつゝ

有る

あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも

慈法和尙

あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも

人丸

あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも

書 書 三行分

慈法和尙

あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも

あはれ

あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも

あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも

慈法和尙

あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも

あはれ

あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも

慈法和尙

あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも

あはれ

あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも
あはれなるものぞかたじけなくも

あはれ

あはれ

あえと年一壬十二月廿一夕梅

龜山院

そとと一あひひたうつら梅むり夕もみうらふまは

見えと年他同の合夕もあや

やうととあひひのうたあひのうらよ夕のあそ

あえと年一他同の合夕

あやめりうきやうのうたあひのうらよ夕のあそ

和歌集

丁酉とそちれあえくれのあそよあひひあそ

六百番夕夕

あそよあひひあそ

あそよあひひあそよあひひあそ

三行分トル

あそよ

あそよあひひあそ

あそよあひひあそよあひひあそ

日中

あそよあひひあそ

あそよあひひあそよあひひあそ

日

あそよあひひあそ

あそよあひひあそよあひひあそ

日

あそよあひひあそ

あそよあひひあそよあひひあそ

初三
まゝのり
あつた
あつた
あつた
あつた

お集
お集

この店(部)のいぬ井戸のいぬ井戸のいぬ井戸のいぬ井戸

4 坤 三行分た

お集
お集

みらのいぬ井戸のいぬ井戸のいぬ井戸のいぬ井戸

4 艮 三行分た

お集
お集

百集
お集
お集

4 彼岸 三行分た

文永七年 毎日三箇中 為ある

お集
お集
お集
お集

達も毎日三箇中

お集
お集
お集
お集

お集
お集
お集
お集

康元二年

お集
お集
お集
お集

達も二年毎日三箇中

お集
お集
お集
お集

お集

夫木和歌
抄卷第
十九
終

